848-J8J-93A1 (E1/A810)

ZENOAH

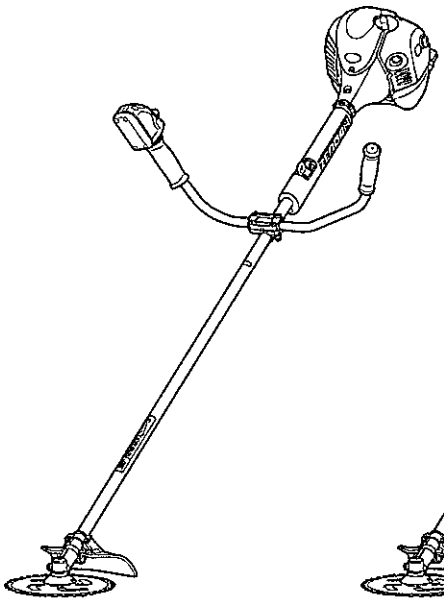
ゼノア刈払機

取扱説明書

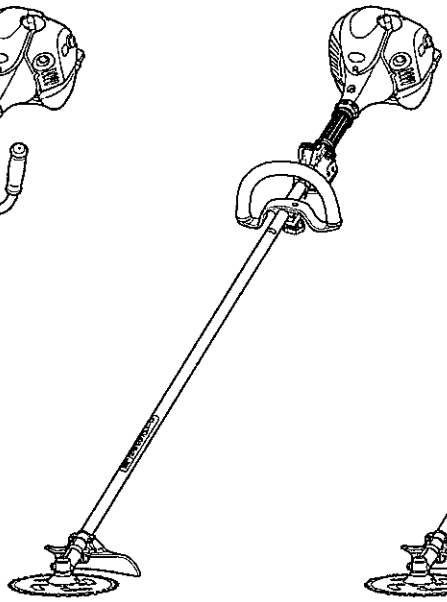
ゼノアハイブリッドスタート 押すだけ

BC2350Hb
BC2650Hb

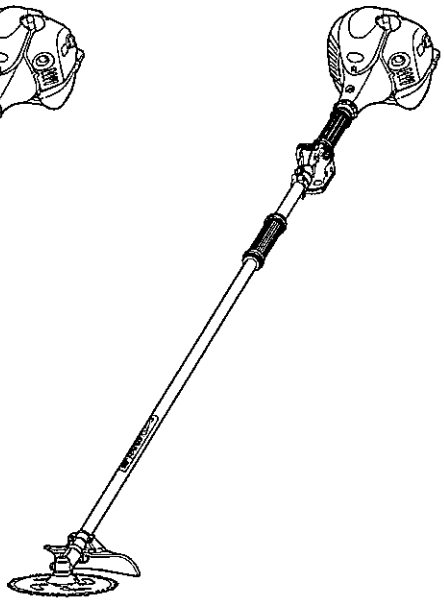
DL/DT/DW



【DW:両手ハンドル仕様】



【DL:ループハンドル仕様】



【DT:2グリップ仕様】

※この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

＊This product is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any country.

警告

- この取扱説明書には製品をご使用いただく上で、事故を防ぐ重要な注意事項と製品の取扱い方が示されています。この取扱説明書を良く理解した上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 電気関係部品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

Li-ion

この製品にはリチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

リチウムイオン電池はリサイクルへ

操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って誤操作のないようご注意ください。

マーク表示部位	図　柄	意　　味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが開くことを示します。
ストップスイッチ （右手グリップ側）		■ 運転 運転側にするとエンジンが「運転」することを示し、スタートボタンでエンジンが始動することを表わします。 ■ 停止 停止側にするとエンジンが「停止」することを示します。

重　要	本製品は、オートチョークキャブレタを搭載しています。 通常のエンジン始動時はチョークレバーの位置が「開」側にあることをご確認ください。

はじめに

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠ 危険	：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	：注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
重要	：注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
補足	：その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

⚠ 正しくお使いいただくために……1
バッテリ・充電器について……3
警告ラベルとその取扱い……10
サービスと保証について……11
製品主要諸元……12
各部の名称……13
標準付属品……14
バッテリの充電
充電器による充電……16
外部充電コネクタによる充電……17
組立
エンジンと本体の結合……18
スイッチコードの接続……18
スロットルワイヤの接続……19
スロットルワイヤの遊び調整……20
ハンドルの取り付け……21
飛散防護カバーの取り付け……21
刈刃の取り付け……22
刈刃の種類と推奨用途……23
バッテリの取り付け……24
燃料……25
給油……26
エンジンのかけかた……27
エンジンのとめかた……29
操作方法
肩掛バンドの装着……30
緊急離脱用ツマミの操作方法……30
刈払い作業……31
点検整備
作業前後点検……32
定期点検……32
刈刃……33
エアクリーナ……34
燃料フィルタ……34
スパークプラグ……35
冷却用空気通路……36
ギヤケース……37
100時間使用毎の手入れ……38
エンジンの調整……38
長期保管時の手入れ……39
故障のときは……40

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

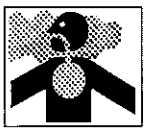
■ 製品をお使いになる前に

●ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。

●本製品は地表の雑草刈りを用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、本来の用途以外の目的（樹木の枝落しや植え込みの剪定、材木の切断など）には使用しないでください。

●本製品は高速回転する刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

●エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。
屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。



●次のような場合はお使いにならないでください。

① 足元が滑りやすいなど、安定した作業姿勢の保持が困難な場合
② 霧や夜間など、作業現場周辺の安全確認が困難な場合
③ 天候悪化時（降雨、強風、雷など）

●初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に熟練者から製品の取扱い指導を受けてください。

●疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

（参考）国有林では、作業者の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

作業は連続3日を限度として		
1回の連続作業時間	30分	以内
1日の作業時間	2時間	以内
1週の作業日数	4日	以内
1月の作業時間	32時間	以内

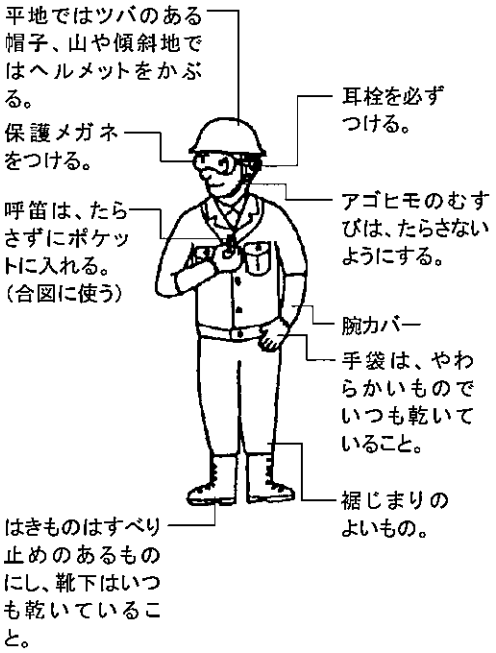
●この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。

●小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。

●本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。

正しくお使いいただくために

■ 使用時の服装・装備



●本製品をお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

① 作業帽子（傾斜地作業時はヘルメット）
② 保護メガネまたは顔面防護ネット
③ 丈夫な手袋
④ 滑りにくく丈夫な靴
⑤ 耳栓（特に長時間作業時）

●また、次の用品を携行してください。

① 製品付属工具および目立てヤスリ
② 適切な容器に入れた燃料
③ 交換用刈刃
③ 作業区域表示用具（ロープ、立て札等）
④ 呼笛（共同作業時や非常時の合図用）
⑤ なた、手のこ（障害物除去用）

●裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履などでの作業はしないでください。

■ 燃料に関する注意事項

●本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。
焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

●くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

●燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。
通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

●使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

●給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

●給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。

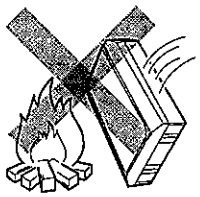
正しくお使いいただくために

■ バッテリ・充電器について

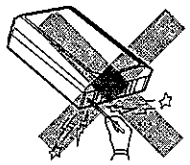
バッテリはハイブリッドスタートシステムを作動させる上で重要な部品です。
バッテリ(リチウムイオン電池)の特性を十分に理解され、正しくお使いください。また、落としたり、ぶつけたりしないようにていねいにお取扱いください。

⚠危険

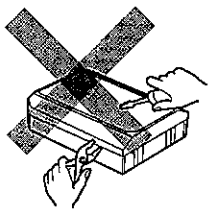
バッテリを火中に投じたり、加熱させたりしないでください。
液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。



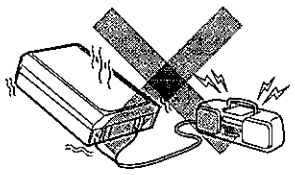
金属などでバッテリの端子間を接触させないでください。
感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。



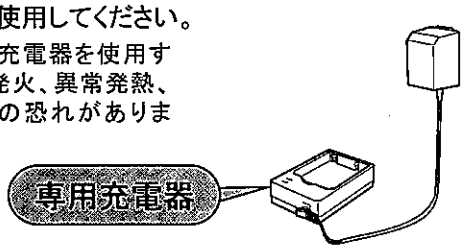
バッテリの分解、改造はしないでください。
感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。



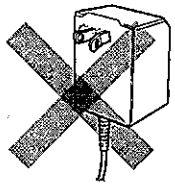
専用バッテリですので他の機種や他の用途には使用しないでください。
液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。



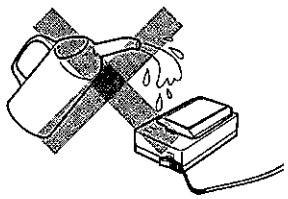
バッテリを充電する場合は、付属の専用充電器を使用してください。
他の充電器を使用すると発火、異常発熱、故障の恐れがあります。



充電器のケース、ACアダプタのコードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電、発火、異常発熱の恐れがあります。



燃料の保管場所や燃料がこぼれた場所では、バッテリの充電作業は行わないでください。
燃料に引火し、火災、やけどの恐れがあります。



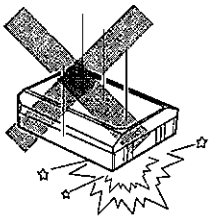
バッテリの液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で十分洗ってから、直ちに医師の治療を受けてください。
失明の恐れがあります。

正しくお使いいただくために

⚠警告

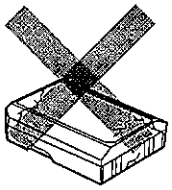
バッテリを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

ケースの破損、液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。



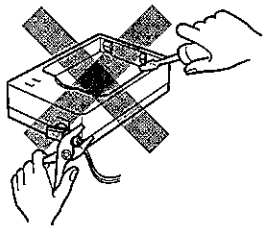
ケースが破損したバッテリは使用しないでください。

液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。



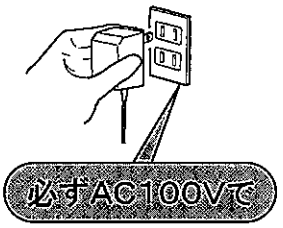
充電器の分解、改造はしないでください。

感電、発火、異常発熱の恐れがあります。



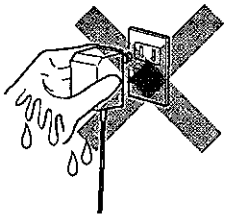
電源は、交流100V専用のコンセントを使用してください。

液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。



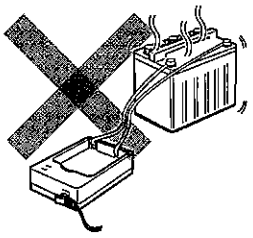
濡れた手でACアダプタの抜き差しをしないでください。

感電の恐れがあります。



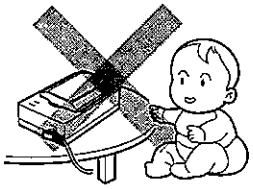
充電器は専用バッテリ以外の充電には使用しないでください。

感電、発火、異常発熱の恐れがあります。



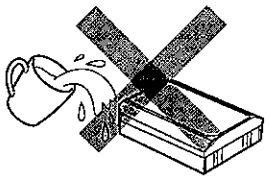
幼児の手の届くところでは充電しないでください。

感電やけがの原因となります。



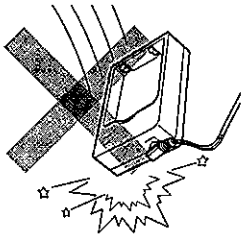
バッテリに水や海水をかけたり、水中に入れたりしないでください。

ショート、異常発熱の原因となります。また、水中に投じると電池機能を失い使用できなくなります。



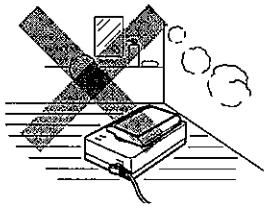
充電器を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

感電、発火、異常発熱の恐れがあります。



浴室などの湿気の多いところや、屋外で雨に濡れるところなどでは充電しないでください。

感電、発火、異常発熱の恐れがあります。

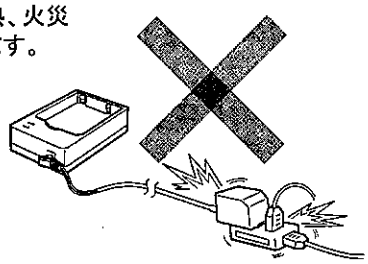


正しくお使いいただくために

⚠警告

充電するときは、延長コードの使用や他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

感電、異常発熱、火災の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

コードが破損し、感電・火災の原因となります。

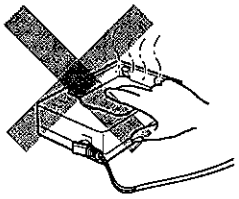
バッテリ液が皮膚や衣類に付着したときは、直ちにきれいな水で洗い流してください。

皮膚に障害を起こす恐れがあります。

⚠注意

充電器中は、身体の同じ箇所を長時間、充電器に触れさせないでください。

ケースの温度が高温になる場合があり、低温やけどの恐れがあります。



充電しないときは、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

電源コードがドアやサッシなどに挟まれないよう取扱いには十分に注意してください。

コードを傷つけ、感電や発火の恐れがあります。

ACアダプタのプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って抜いてください。

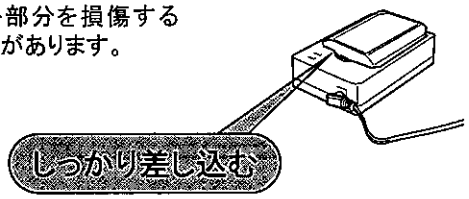
感電、ショート、発火の原因となります。

ACアダプタのプラグにゴミや土、油が付着しないように注意してください。

感電や発火の恐れがあります。

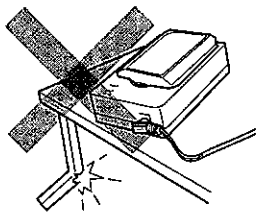
充電器にバッテリをしっかり奥まで差し込んでください。

端子部分を損傷する恐れがあります。



傾いたところで充電しないでください。

転倒し、感電、発火、異常発熱、の恐れがあります。



正しくお使いいただくために

【バッテリ(リチウムイオン電池)の特性】

- 本製品に付属するリチウムイオン電池は高性能充電式で、充電と放電を繰り返し使用できる、優れた電池です。
- バッテリの寿命は気温・使用状況・充電の仕方などにより異なります。特に、高温の状況下ではバッテリの性能を低下させますので機体を放置する際は、直射日光の当らない場所を選んでください。
- 長期間、使用せずに保管すると自己放電によりバッテリ残量が次第に減少します。バッテリの特性上、残量が空の状態で放置するとバッテリとしての機能を失います。少なくとも半年に一度は充電してください。
- 付属バッテリは単体では防水機能を持っていません。したがって、水気の多いところでの充電・ご使用はしないようにしてください。
- バッテリは安全に十分配慮して設計されています。万一動作がおかしくなったり、異音・異臭がしたら直ちにご使用を中止してください。
- リチウムイオンバッテリは※メモリ効果がなく、継ぎ足し充電が可能です。

※電池を使い切らずに途中で充電をする(継ぎ足し充電)使い方をすると、見かけの電池容量が減り、すぐに電池切れになる現象。

【過放電(バッテリ残量が完全になくなった状態)について】

- 長期間、使用せずに保管されると自己放電により過放電してしまう可能性があります。バッテリの特性上、過放電させてしまいますとバッテリとしての機能を失います。ご使用にならない場合でも、半年に一度は充電してください。

【バッテリ交換の目安について】

- バッテリは充放電の繰り返しにより徐々に劣化し、充電能力が低下します。付属の充電器で所要時間充電してもバッテリの電圧が回復しない(モータが回らない)場合は、新しいバッテリと交換してください。なお、ご自身で判断が困難な場合はお買い上げ店にご相談ください。

【リチウムイオン電池のリサイクルについて】

- この製品にはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったリチウムイオン電池は金属端子部にセロハンテープ等の絶縁テープを貼って充電電池リサイクル協力店へお持ちください。

リチウムイオン電池はリサイクルへ

リサイクル協力店に関するお問い合わせ先
社団法人電池工業会　http://www.baj.or.jp

正しくお使いいただくために

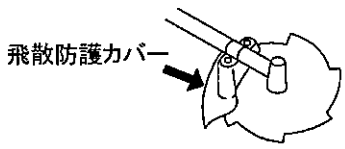
■ 使用前の注意事項

●作業を始める前に現場の状況（地形、刈り払う草の性質、障害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。

●作業者から15m以内を危険区域とし、この中に人が立ち入らないよう標識ロープで囲む、立て札を立てる等の警告表示をしてください。また、数人で共同作業を行なう場合は、緊密に合図しあうなどして常に安全間隔を確保してください。

●作業を開始する前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみ、燃料漏れ、損傷、変形などの異常がないことを確かめてください。特に刈刃および刈刃取付部は入念に点検してください。

●飛散防護カバーを取り外した状態で使用しないでください。

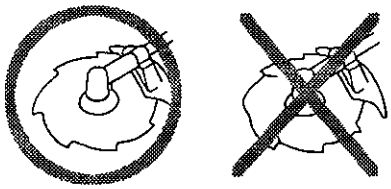


●肩掛けバンドは正しく着用し、作業時は機体の所定位置に接続して使用してください。

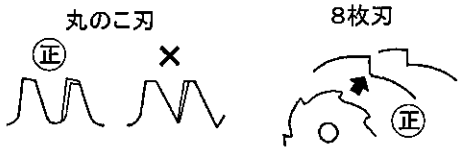
●刈刃は、作業条件に合わせて純正品の中から適切なタイプを選択使用してください。（詳細は本文23ページ参照）

●刈刃はよく目立てされたものを使用してください。

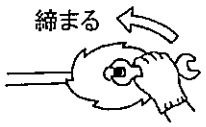
●刈刃は、欠け、ひび割れ、曲がりなどがないことを確認してから使用してください。異常のある刈刃は絶対に使用しないでください。



●刈刃を目立てするときは割れ防止のため必ず刃元に丸みをつけてください。



●刈刃取り付け時は本書または刈刃付属の取り付け要領に従って正しく取り付けてください。



●刈刃を締め付け後、手回しして振れや異音がないことを確かめてください。
振れがあると異常振動や刈刃取付部ゆるみの原因となり非常に危険です。

⚠ 正しくお使いいただくために

■ エンジン始動時の注意事項

●エンジンを始動する時は周囲（１５ｍ以内）の安全をよく確かめてください。

●始動時は機体を両手でしっかりと保持し、刈刃やスロットルレバーが地面や周囲の障害物に触れないよう機体をしっかり固定してください。スロットルレバーがアイドリング位置にない状態でエンジンをかけると、始動と同時に刈刃が回り出し、非常に危険です。

●エンジン始動時は、必ずスロットルレバーをアイドリング位置（完全に戻した状態）にしてください。

●エンジン始動後、スロットルレバーから指を離した状態で刈刃が回らないことを確かめてください。刈刃が回り続ける場合はエンジンを停止し、スロットルワイヤ他の点検整備を行なってください。
（本文19～20ページおよび38ページ参照）

■ キックバックに関する注意事項

●キックバックとは、高速回転している刈刃が石や樹木、コンクリート、杭、支柱など硬くて切れない固定物に触れた際に、反作用で機体が瞬間的に大きく振られる現象をいいます。
キックバックが起きると機体が思わぬ動きをするため、正常な操作ができなくなる危険があります。キックバック防止のため、以下事項を必ず守ってください。

① 作業前にキックバックの恐れがある障害物の位置を確かめ、その周囲の草を取り除いて分かりやすくしておくこと。

② 作業時は、機体のハンドルグリップ部以外を持って操作しないこと。

③ 作業中は刈刃から目を離さないこと。目を離す必要がある場合はスロットルレバーを完全に戻すこと。

④ 刈刃が足元に近づいたり腰より上になるような機体操作はしないこと。

■ 運搬時の注意事項

●金属製刈刃使用時は、刈刃に付属の刈刃カバーを装着するか、適切な覆いをしてください。

●車で運搬するときは、ロープなどで荷台に確実に固定してください。
危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。

●燃料タンクに燃料を入れたまま長時間悪路上を運搬しないでください。キャップがゆるみ燃料が漏れ出す恐れがあります。

正しくお使いいただくために

■ 作業時の注意事項

●作業時は機体の握り部（ハンドルグリップ）を両手でしっかり握って操作してください。作業を中断する場合は、スロットルレバーを完全に戻し、エンジンを停止してから手を離してください。

●刈払作業はゆとりのある安定した姿勢で行なってください。

●エンジンの回転は作業に必要な範囲に保ち、不必要に上げないでください。

●刈刃に巻き付いた草を取り除いたり、刈刃や機体の点検、燃料補給が必要な場合は必ずエンジンを停止し、刈刃の回転が完全に停止してから行なってください。

●刈刃が石などの硬いものに当ったときはすぐにエンジンを停止し、刈刃に異常がないか点検してください。
異常があった場合は作業を中止し、正常な刈刃に交換してください。

●作業中に後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。

●電気ショックを受ける可能性がありますので、エンジン運転中はスパークプラグやプラグコードに触れないでください。

●高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止直後は素手でマフラなどの金属部に触れないでください。

●作業を中断して移動するときは、エンジンを停止し、刈刃を前向きにして持ち運んでください。

●運転中は、冷却用空気取入口に物を差し込んだりしないでください。
回転部品に触れる恐れがあり危険です。

■ 整備上の注意事項

●この取扱説明書では、製品の機能維持に必要な整備について説明しています。本書に記載されていない整備が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。

●製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作ができなくなる危険があります。

●点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。

●エンジン停止直後は、素手でマフラやスパークプラグに触れないでください。
高温のためやけどの危険があります。

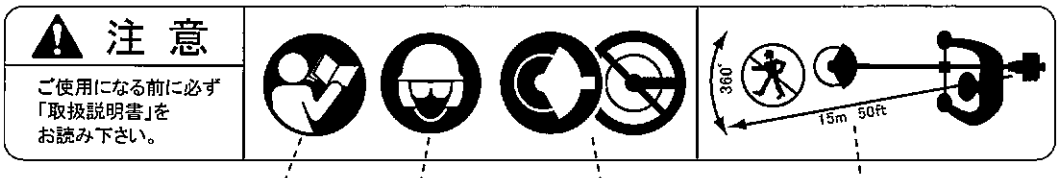
●刈刃の着脱や研ぎ直しをするときは、けが防止のため丈夫な手袋を着用してください。

●刈刃などの交換用部品や補充用油脂類は、必ずゼノア純正品または当社指定銘柄品を使用してください。

正しくお使いいただくために

■ 警告ラベルとその取扱い

①品番 Z6420-11590



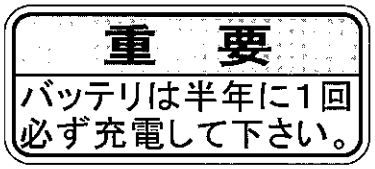
取扱説明書を読むこと

ヘルメット・保護メガネ・耳栓着用のこと

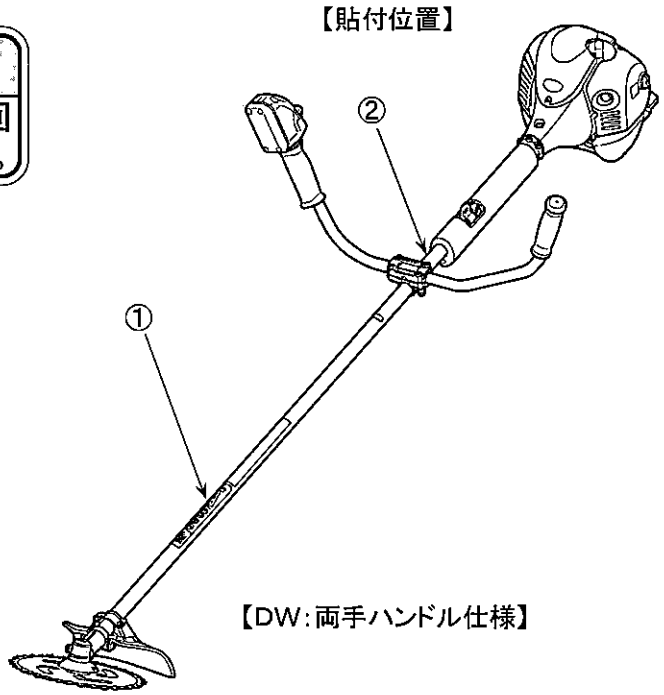
飛散防護カバーを取り外さないこと

１５ｍ以内に人を近付けないこと

②品番 848-J8J-90S0



【貼付位置】



【DW:両手ハンドル仕様】

【ラベルのメンテナンス】

（1）警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

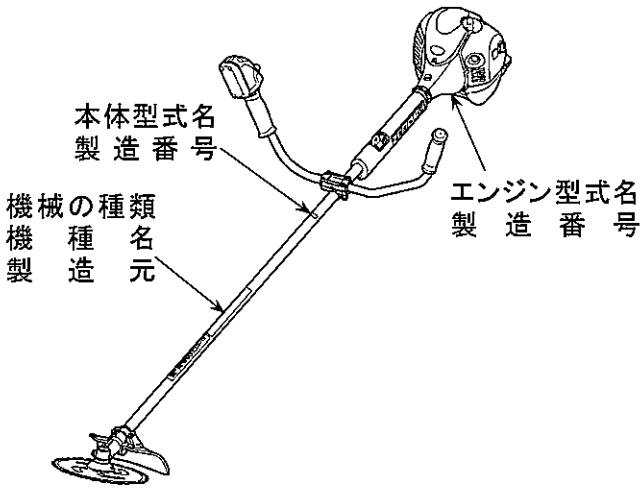
（2）警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。

（3）新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。
お問い合わせの際は型式名と製造番号(下図参照)をご連絡ください。
製品・技術・その他に関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口 (裏表紙記載)にお寄せください。



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後8年です。
ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

⚠警告	機械の改造は危険ですので、改造しないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

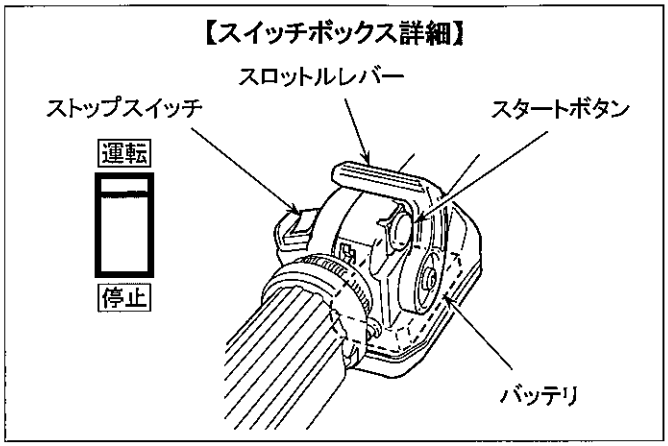
製品主要諸元

名称・型式		ゼノア刈払機				
		BC2350			BC2650	
		DL-Hb	DT-Hb	DW-Hb	DL-Hb	DW-Hb
ハンドル形式		ループ	2グリップ	両手	ループ	両手
本体乾燥質量※1 kg		4.6	4.5	4.8	5.0	5.3
外形寸法※2	全長 mm	1830			1830	
	全幅 mm	255		580	255	580
	全高 mm	250		440	250	440
燃料タンク容量 L		0.67				
推奨刈刃		詳細本文23ページ参照				
動力伝達方式		自動遠心クラッチ、スパイラルベベルギヤ				
減速比		1.462 (19: 13)			1.357 (19: 14)	
刈刃回転方向		反時計回り(作業者から見て)				
エンジン	形式	G24LS			G27LS	
	排気量 cm^3	22.5			25.4	
	使用燃料	潤滑油混合ガソリン				
	使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル				
	混合比	ゼノア純正オイル使用時 40:1／市販オイル使用時 25:1				
	キャブレタ	ダイヤフラム、ロータリーバルブ式				
	点火方式	デジタル制御(CDI)				
	スパークプラグ	チャンピオン RCJ-6Y				
	始動方式	ハイブリッドスタート式				
	停止方式	点火回路一次側短絡式				

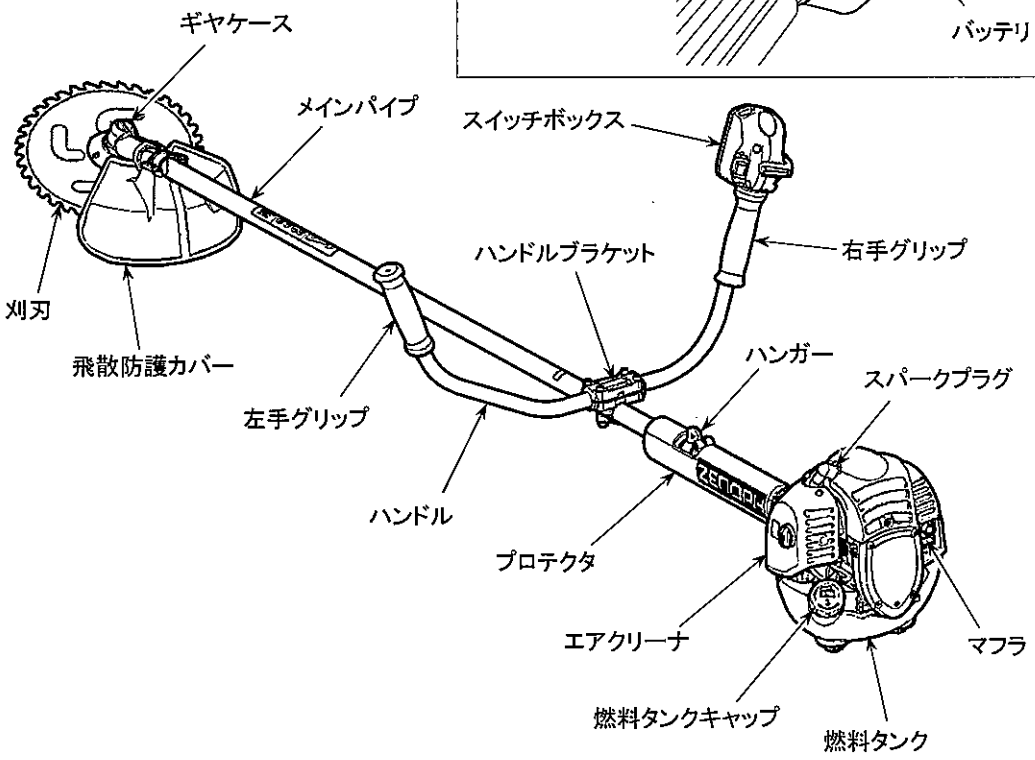
(※1)刈刃、肩掛バンド、燃料を除く
(※2)255mmチップソー装着時

改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

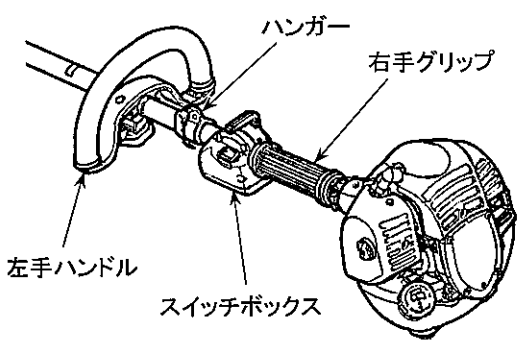
各 部 の 名 称



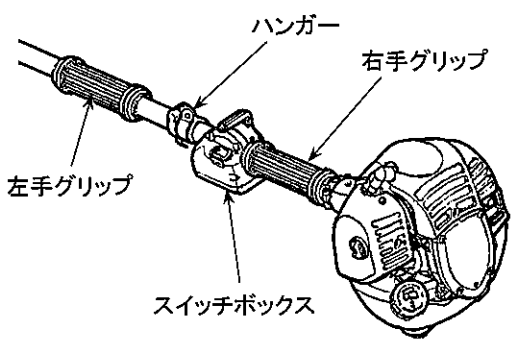
【DW:両手ハンドル仕様】



【DL:ループハンドル仕様】

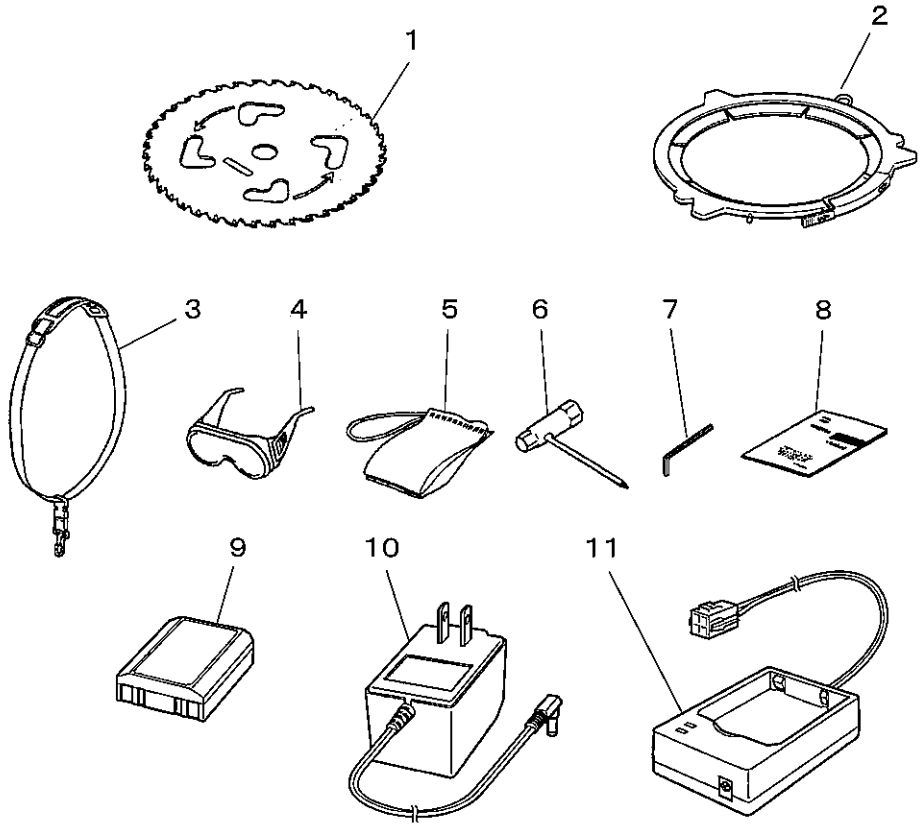


【DT:2グリップ仕様】



標　準　付　属　品

開梱時に下記の付属品が入っていることを確認してください。
不足しているものがあればお買い上げいただいた販売店にご連絡ください。



図番号	部品番号	品名	数量
1	6298-59391	チップソー 255-40P	1個
2	848-JL0-92B1	刈刃カバー	1個
3	848-J82-3610	肩掛バンド	1個
4	T3541-92110	保護メガネ	1個
5	3520-91110	刈刃収納バッグ	1個
6	3073-91111	ソケットレンチ	1本

図番号	部品番号	品名	数量
7	09007-00425	六角レンチ(対辺 4)	1本
8	848-J8J-93A1	取扱説明書※	1冊
9	848-8RR-0170	バッテリ	1個
10	848-8UB-0010	ACアダプタ	1個
11	848-8UA-0010	充電器	1個

※: 保証書が挟み込まれています。

バッテリの充電

⚠ 危 険	● 充電は、必ず付属の専用充電器およびACアダプタを使用して行なってください。 ● 充電器が損傷している場合は、使用しないでください。 ● バッテリの液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で十分洗ってから、直ちに医師の治療を受けてください。 ● バッテリの分解、改造はしないでください。

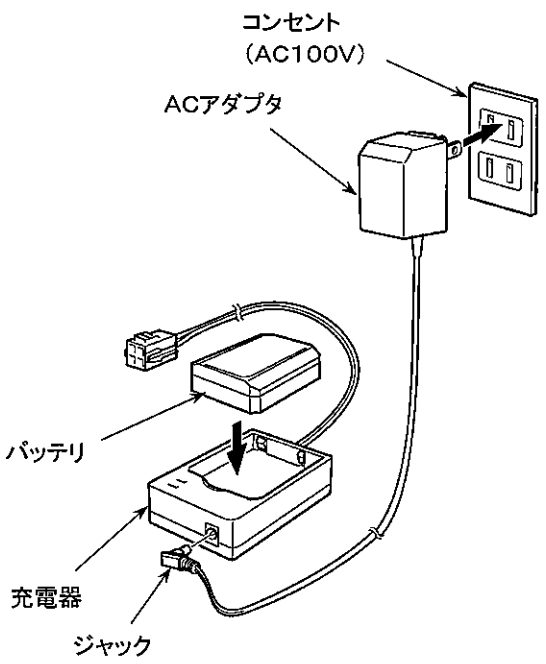
⚠ 警 告	● バッテリを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。また、ケースが破損したバッテリは使用しないでください。 ● 充電器の分解、改造はしないでください。 ● 電源は、必ずAC100V専用のコンセントを使用してください。AC100V以外のコンセントを使用すると、発火・発煙の恐れがあり、危険です。 ● バッテリに水をかけたり、水中に入れたりしないでください。また、濡れた手でACアダプタの抜き差しをしないでください。 ● 充電器を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。 ● 浴室などの湿気の多いところや、屋外で雨に濡れるところなどでは充電しないでください。 ● バッテリ液が皮膚や衣類に付着したときは、直ちにきれいな水で洗い流してください。

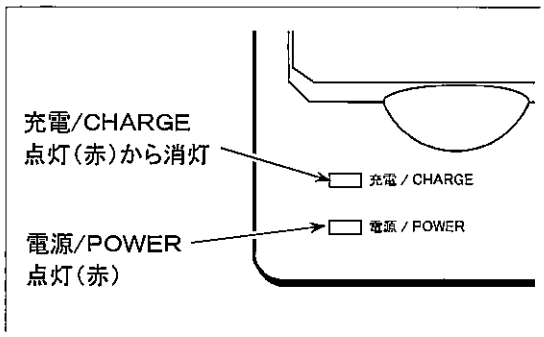
⚠ 注 意	充電しないときは、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

重 要	● 開梱時、バッテリは充電されていません。作業する前に必ず充電してからご使用ください。 ● 充電中は燃料などの引火しやすい物を付近に置かないでください。 ● 下記の条件を考慮し、安全に充電作業を行ってください。 ・直射日光や雨露の当らないところ ・風通しがよく、湿気の少ないところ ・振動のないところ ・周囲温度が0～40℃のところ ・強力な磁気や放射線のないところ ・充電器を置いた際に安定する平坦なところ ・砂埃のないところ ・幼児やペット等がいたずらをしないところ

■ 充電器による充電

図1





1. 充電器にバッテリを確実に差し込んでください。

重要 バッテリを斜めに取り付けると、端子部分を損傷することがあります。

2. AC アダプタのジャックを充電器に差し込んでください。

3. AC アダプタの電源プラグをご家庭のコンセント（AC100V）に差し込んでください。
「電源/POWER」および「充電/CHARGE」ランプが点灯（赤）します。

補足 雑音が入ることがありますので、テレビやラジオ等のAV機器から2m以上離れたところで充電してください。

〔充電の確認〕

「充電/CHARGE」ランプはバッテリの充電状態に応じて表示を変えます。
ランプが消灯すれば充電完了です。

充電状態	ランプ表示	
	電源/POWER	充電/CHARGE
充電中	点灯(赤)	点灯(赤)
充電完了	点灯(赤)	消灯

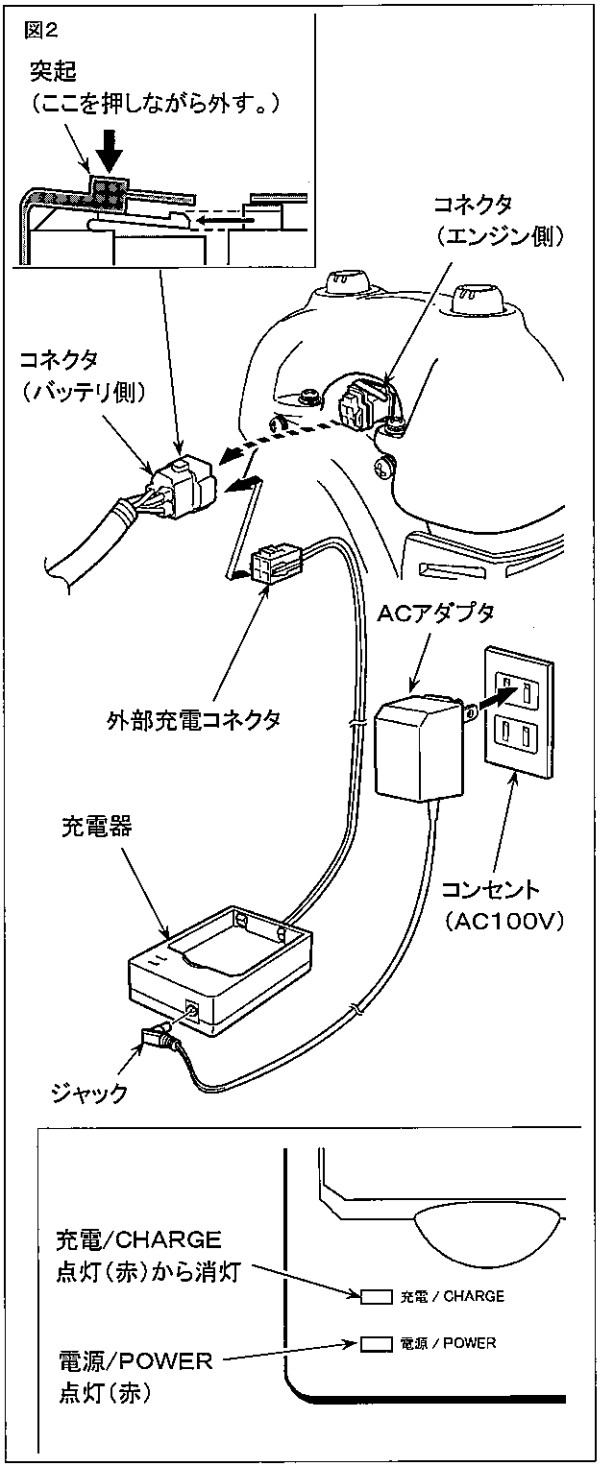
補足 バッテリが空の状態から充電完了までの時間は約4時間です。

4. 充電が完了したら、AC アダプタをコンセントから抜き、バッテリを充電器から取り外してください。

重要 充電器をしっかり押えてバッテリを取り外してください。充電器を押えずにバッテリを持ち上げると、充電器が外れて落下し破損する恐れがあります。

■ 外部充電コネクタによる充電

重 要	外部充電コネクタにて充電を行なう際は、充電器に他のバッテリを取り付けないでください。



本製品は、バッテリを取り外さずに充電できるように設計されています。

1. クラッチハウジング下でクランプされているコネクタの接続を外してください。

重要 **コネクタを外す際は、無理に引張らないでください。必ずバッテリ側コネクタカバーの突起を押しながら外してください。**

2. 付属の充電器からでている外部充電コネクタを、バッテリ側コネクタに接続してください。

3. AC アダプタのジャックを充電器に差し込んでください。

4. AC アダプタの電源プラグをご家庭のコンセント（AC100V）に差し込んでください。
「電源/POWER」および「充電/CHARGE」ランプが点灯（赤）します。

補足 **雑音が入ることがありますので、テレビやラジオ等のAV機器から2m以上離れたところで充電してください。**

〔充電の確認〕

「充電/CHARGE」ランプはバッテリの充電状態に応じて表示を変えます。
ランプが消灯すれば充電完了です。

充電状態	ランプ表示	
	電源/POWER	充電/CHARGE
充電中	点灯（赤）	点灯（赤）
充電完了	点灯（赤）	消灯

補足 **バッテリが空の状態から充電完了までの時間は約4時間です。**

5. 充電が完了したら、AC アダプタをコンセントから抜いてください。

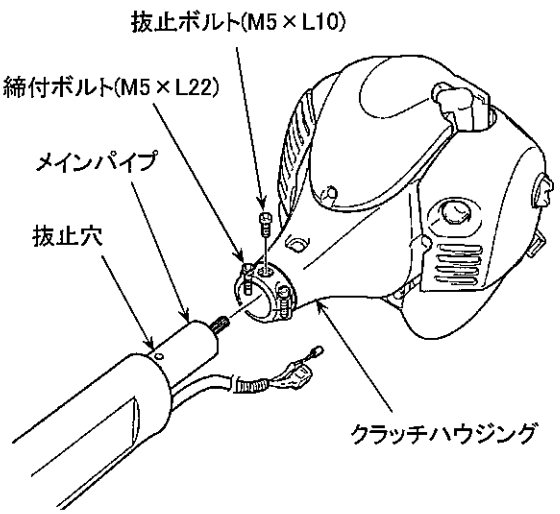
6. コネクタを取り外しのときと逆の手順で取り付けてください。

組　　立

⚠ 注 意	● 組立時は各部品を正しく組み付けてください。組み付けを誤ると事故を招く恐れがあります。 ● ご自身で組立が困難な場合はお買い上げ店にご相談ください。

■ エンジンと本体の結合

図3

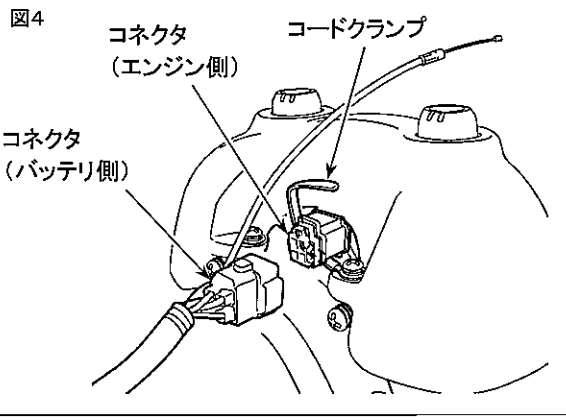


1. クラッチハウジング端部中央の抜止ボルト（M5×L10）を、付属の六角レンチでゆるめて取り外してください。
2. クラッチハウジング端部のメインパイプ締付ボルト（M5×L22）２本を、付属の六角レンチでゆるめてください。
3. メインパイプを軽く左右に回しながらクラッチハウジングに押し込んでください。
4. クラッチハウジングの抜止用ネジ穴とメインパイプの抜止穴を合わせてから抜止ボルトをねじ込み、確実に締め付けてください。
5. メインパイプ締付ボルトを交互に締め込んで、メインパイプを確実に固定してください。
   【締め付けトルク】
   4.9～7.8N･m {0.5～0.8kgf-m}

■ スイッチコードの接続

⚠ 注 意	● コネクタは確実に差し込んでください。接続が不完全だと運転中に外れ、スイッチを操作してもエンジンが止まらなくなります。 ● 接続後はコードが周囲に接触していないことを確認してください。

図4



1. バッテリ側およびエンジン側のコネクタを接続してください。

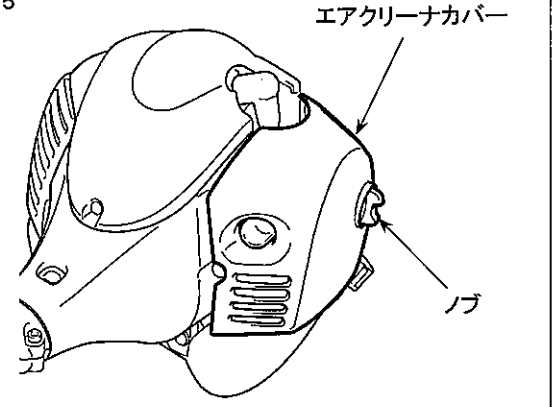
重要 **確実に接続されていること、ゴムカバーがめくれていないことを確認してください。**

2. エンジン側のコネクタをコードクランプで巻き込むように固定してください。

■ スロットルワイヤの接続

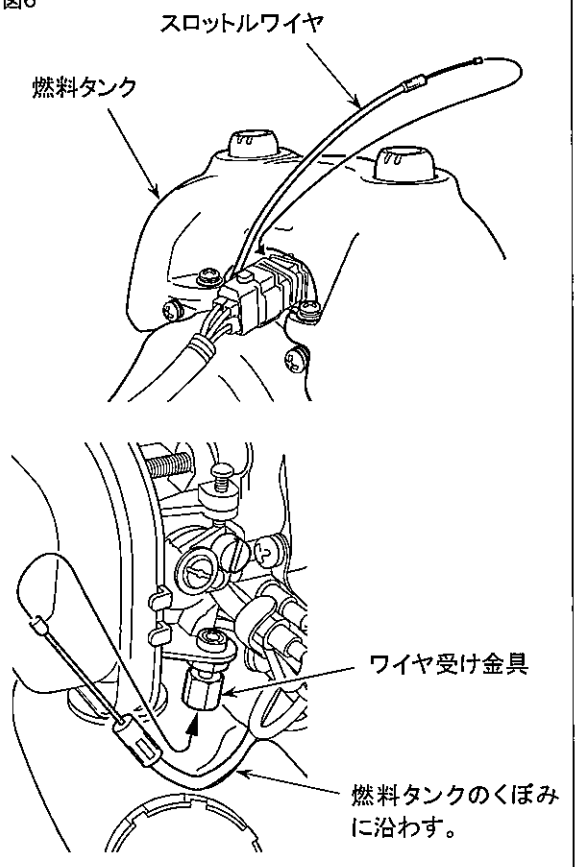
⚠ 注 意	スロットルワイヤ取り付け後、ワイヤスリーブの口金部がワイヤ受け金具に正しく収まっていることを確かめてください。 スリーブの口金部がワイヤ受け金具に乗り上げていると、スロットルレバーを戻してもエンジン回転が下がらず危険です。

図5



1. エアクリーナカバーのノブをゆるめてカバーを取り外してください。

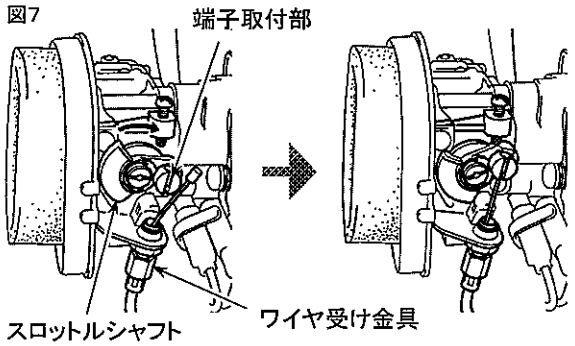
図6



2. スロットルワイヤの先端をクランクケースと燃料タンクの間を通し、燃料タンクのくぼみに沿わせながらワイヤ受け金具に挿入してください。

重要 **確実にスロットルワイヤが燃料タンクのくぼみに沿っていることを確認してください。**

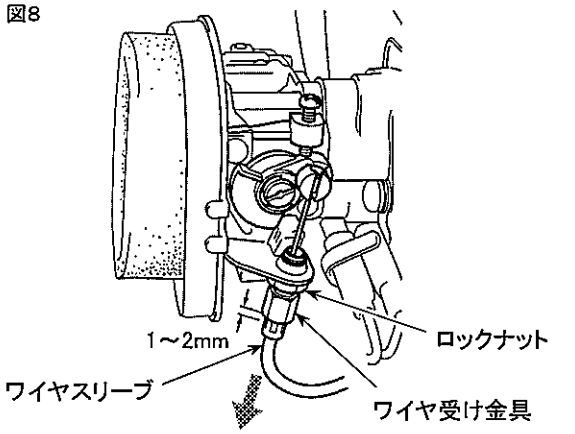
図7



3. キャブレタのスロットルシャフトを指で回して端子取付部をワイヤ受け金具側に近寄せながら、ワイヤの端子を取付部の溝にはめ込んでください。

■ スロットルワイヤの遊び調整

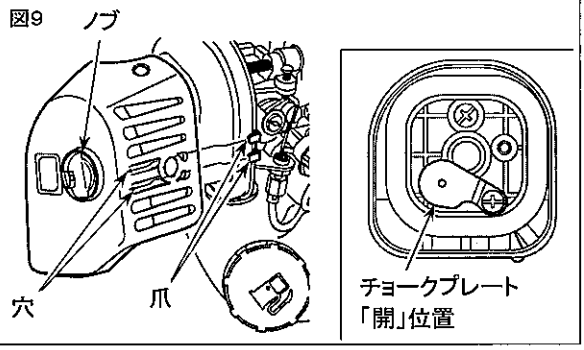
図8



スロットルワイヤの遊びは、スロットルレバーを完全に戻した位置にしてワイヤ受け金具から出ているワイヤスリーブを指でつまんで軽く引いた時に、1～2mm動く程度であれば適正です。遊びが大き過ぎたり小さ過ぎる場合は、下記の要領で再調整してください。

1. ロックナットをゆるめ、ワイヤ受け金具の位置を調整してください。
   遊びは、ワイヤ受け金具を右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。
2. 調整後はロックナットを締め付けてワイヤ受け金具を固定してください。
3. エアクリーナカバーを取り付けます。
   このとき、チョークプレートが「開」の位置になっていることを確認し、エアクリーナ本体右横の爪をカバーの長穴に合わせてからノブを締め込んでください。

図9

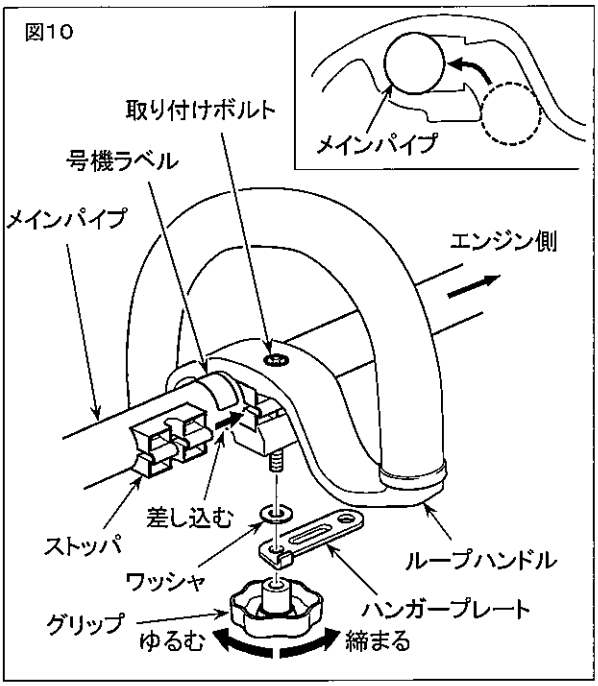


■ ハンドルの取り付け

□DL:ループハンドル仕様

⚠ 危 険	● グリップがゆるむと作業中動いてしまい大変危険です。確実に締め付けてください。 ● 作業中にグリップをゆるめたり、捩るような使い方はしないでください。 ● 位置の調整は必ずエンジンを停止し、刃が止まったことを確認してから行ってください。

図10



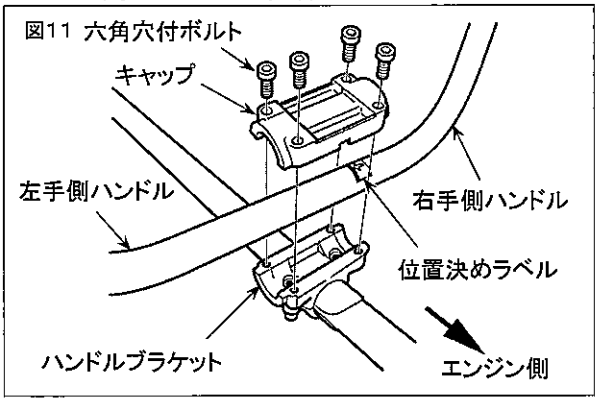
1. 付属のループハンドルのグリップ、ワッシャおよび取付ボルトを外し、ストッパを取り外してください。
2. 左図のようにループハンドルをメインパイプに押し込んでください。

補足 **ループハンドルの取付方向を間違えないようにしてください。**

3. ストッパを図の➡の方向に差し込んでから取付ボルトを挿入します。次に、ワッシャを取付ボルトに挿入し、グリップを回して軽く締め付けてください。
4. ループハンドルの端を号機ラベルに合わせ、グリップを締め付けて固定してください。

□DW:両手ハンドル仕様

図11 六角穴付ボルト

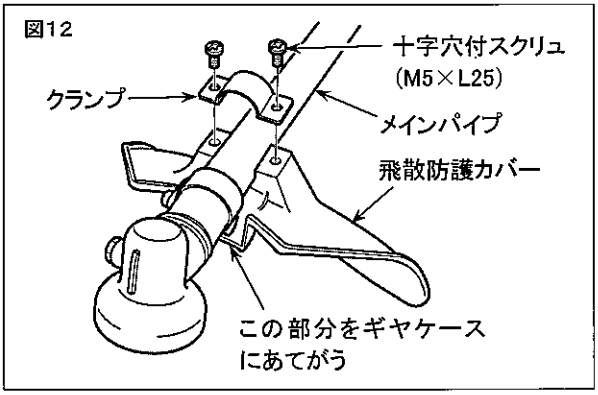


1. ハンドルをエンジン側から見て、スロットルレバーが付いている方が右側になるようにしてブラケットのくぼみに収め、位置決めラベルの矢印をブラケットの右端面に合わせてください。
2. 付属のキャップをブラケットに取り付け、4本の六角穴付ボルトで均等に締め付けてください。

■ 飛散防護カバーの取り付け

⚠ 注 意	飛散防護カバーを取り外した状態で使用しないでください。

図12



付属の飛散防護カバーの先端をギヤケースにあて、付属のクランプでメインパイプに取り付け、十字穴付スクリュ(M5×L25)2本で均等に締め付けてください。

■ 刈刃の取り付け

⚠ 警 告	● エンジンをかけたまま刈刃の取り付け、取り外しをしないでください。 ● 交換用刈刃および刈刃取付金具類は純正品をお使いください。 ● 刈刃着脱時は刈払機を確実に固定し、丈夫な手袋を着用してください。 ● 刈刃は、ギヤケース側から見て左回転(反時計回り)します。裏表にある刈刃を使用するときは、刃の向きを確かめてから取り付けてください。特に、チップソーは、逆向きに取り付けると、チップが破損して飛ぶことがあり、危険です。

□金属刃の取り付け方

図13 BC2350Hb

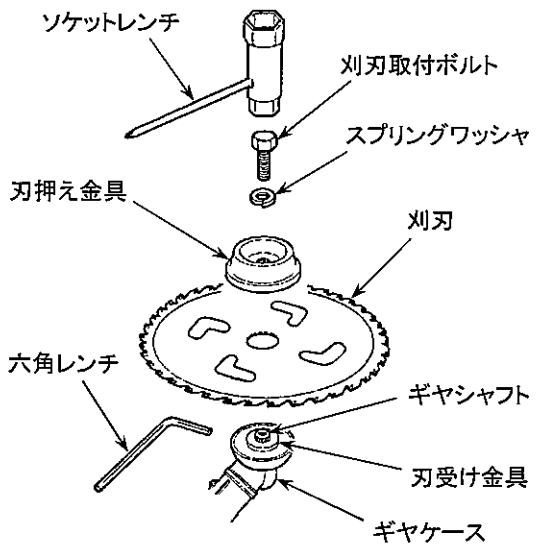
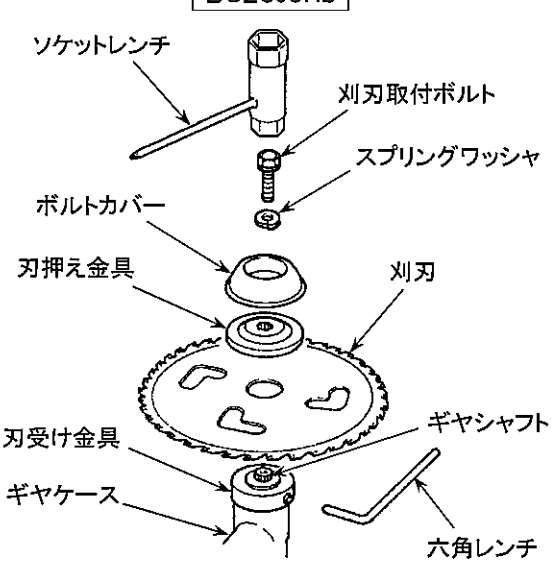
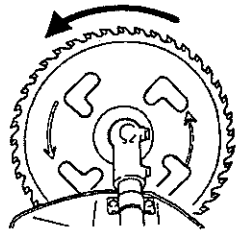


図14 BC2650Hb



1. ギヤシャフトに仮締めされている刈刃取付ボルト（左ネジですので、右に回すとゆるみます）と、刃押え金具を取り外してください。
2. 刈刃を、<u>文字のある面をギヤケース側にして</u>刃受け金具にのせ、刈刃の穴を刃受け金具の凸部に正しくはめてください。
3. 刃受け金具の向きを間違えないようにギヤシャフトにはめてください。
4. 付属の六角レンチで回り止めをしてから、刈刃取付ボルトにスプリングワッシャをはめて、ソケットレンチで確実に締め付けてください。
【締め付けトルク】
14.7～19.6N･m {150～200kgf･cm}

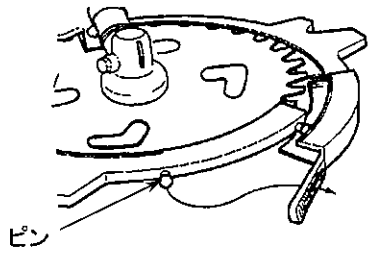
図15



重要 刈刃を上から見て、取付方向に間違いがないか確認してください。

□刈刃カバーの取り付け方

図16



1. 刈刃の刃先を刈刃カバーの溝にはめ込んでからカバーの端をピンで留めてください。
2. 取り外すときは、ピン留めを外し、刈刃カバーを外側に広げるようにして刈刃から外してください。

■ 刈刃の種類と推奨用途

標準付属刈刃以外に、オプションとして各種の刈刃を用意しております。作業用途に合わせて適切な刈刃をお選びください。

用途	推奨刈刃					推奨機種	
	種別			部品番号	品名	BC2350	BC2650
柔らかい雑草	金属刃	切込刃	4枚刃	6298-14244	ブレード φ230-4T	○	—
				6298-14344	ブレード φ255-4T	—	○
一般雑草			8枚刃	6298-15244	ブレード φ230-8T	○	—
				6298-15344	ブレード φ255-8T	—	○
		チップソー		3699-99735A	ブレード φ230-36P	○	—
				3699-99736A	ブレード φ255-40P	○	○
一般雑草(平坦地)		モアユニット		BC00029	モアユニット R	○	○
柔らかい雑草(障害物まわり)	ナイロンカッタ			YZDTA01	ナイロンカッタ オート D	○	○
				BC00A22	ナイロンカッタ オート Z2 ボルト式	○	○
				BC00A23	ナイロンカッタ オート Z2 刈刃式	○	○

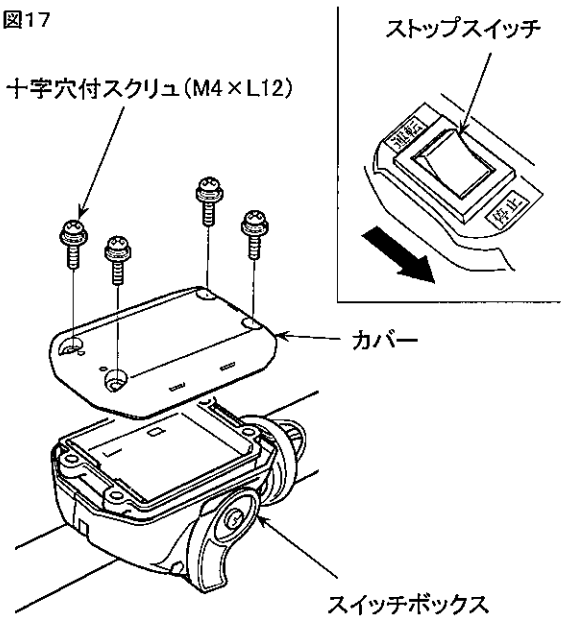
詳しくはそれぞれの刈刃に添付の取扱説明書をお読みください。

重要	ナイロンカッタは金属刃より抵抗が大きいため、取扱い操作を誤るとクラッチ部が発熱し変形損傷することがあります。ご使用時は次の点をお守りください。 ● ナイロンカッタは純正品をお使いください。市販品をお使いになる場合は本体の外径が10cm以下のものにしてください。 ● ナイロンコードの長さは17cm以下にしてください。 ● 作業時はエンジン回転を高速に保ってください。

■ バッテリの取り付け

⚠ 注 意	● バッテリ取付部に異物や液体が付着していないことを確認してください。端子部に異物や液体が付着していると接触不良を起こす可能性があり危険です。異物や液体が付着している場合は取り除いてください。 ● カバーが確実に取り付けられていることを確認してください。スクリュの締め付けが不十分だとバッテリに水や埃が浸入する恐れがあります。

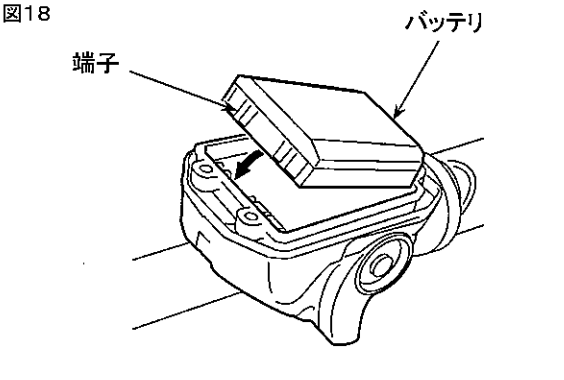
図17



1. スイッチボックスのストップスイッチが「停止」側になっていることを確認してください。
2. スイッチボックス下部の十字穴付スクリュ（M4×12）４本を外し、カバーを取り外してください。

補足　取り外したスクリュを紛失しないように注意してください。

図18



3. 端子の向きを合わせ、“パチン”と音がするまでバッテリをしっかりと取り付けてください。

重要　バッテリが確実に取り付けられていることを確認してください。しっかり取り付けられていないと接触不良を起こす可能性があり危険です。

4. カバーを取り外しと逆の手順で取り付けてください。

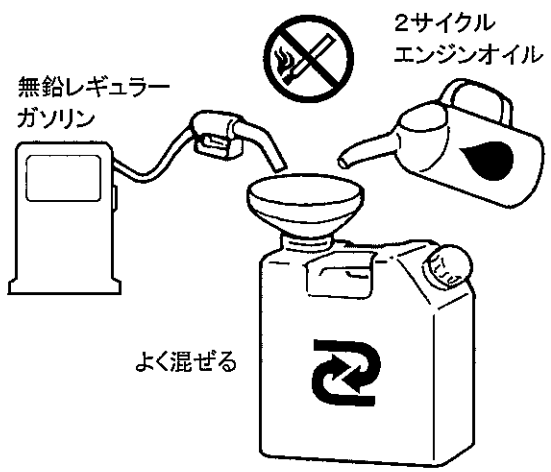
補足　カバーには向きがあります。スイッチボックスの形状に合わせてカバーを取り付けてください。

燃　　料

⚠ 危 険	● 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ● 混合作業は屋外で行ってください。 ● 刈払機や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

重 要	● オイルが混合されていないガソリン（生ガソリン）を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。 ● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。刈払機や燃料容器に水がかからないようにしてください。 ● 4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。

図19



燃料は、最寄のガソリンスタンドで「空冷２サイクルエンジン用混合ガソリン」をお求めになるか、自動車用無鉛ガソリンと空冷２サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

〔混合比〕

□ゼノア純正2サイクルオイル（FC級）使用時

……40：1

（ガソリン４Ｌに対しオイル100mL）

□市販2サイクルオイル（FB級）使用時

……25：1

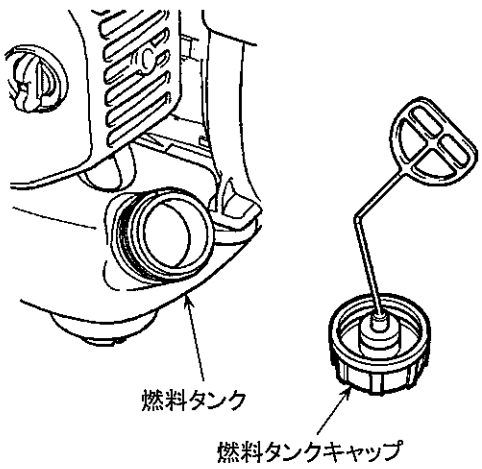
（ガソリン４Ｌに対しオイル160mL）

給　　油

⚠ 危 険	● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。 給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。 ● 燃料タンクキャップは確実に締め付けてください。 ● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。 ● バッテリを充電している近辺では、給油を行なわないでください。

重 要	燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。燃料を入れ過ぎると、運転時に燃料タンクキャップから燃料がもれる恐れがあります。

図20



1. 給油する刈払機を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクキャップを取り外し、8分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったら燃料タンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

— ゼノア純正 ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
◎混合の手間不要
◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。
詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

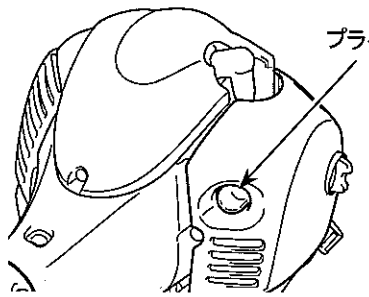
エンジンのかけかた

⚠ 危 険	● 燃料を補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。 給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。 ● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。 人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。

⚠ 警 告	● エンジンの始動、停止時、移動時は常にスロットルレバーをアイドリング位置にしてください。レバーがアイドリング位置以外になっていると、不意にエンジンが始動した際、刈刃が回転し始めてしまうので非常に危険です。 ● エンジン停止時、移動時には必ずストップスイッチを「停止」側にしてください。

⚠ 注 意	● 給油時にこぼれた燃料は、エンジンを始動する前に布で確実にふき取ってからエンジンを始動してください。 ● 始動前に機体各部を点検し、ハンドル取付部のゆるみやスロットルレバーの作動不良、刈刃取付部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。 ● 始動時は機体を両手で確実に保持してください。 ● スロットルレバーを引いた状態でエンジンを始動しないでください。 始動と同時に刈刃が動き始めますので非常に危険です。始動時は両手で機体を確実に保持し、刈刃の周囲から障害物を遠ざけてください。 ● 始動時は刈刃が地面に触れないようにし、周囲の障害物を遠ざけてください。 ● スロットルレバーを完全に戻しても刈刃が回り続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。 ● エンジンがかかったら刈刃が動かないことを確認してください。 刈刃が動き続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。 ● 運転時は常に両手でグリップ部を握り、刈刃から目を離さないでください。 ● やけどの恐れがありますので運転中および停止直後はエンジン本体やマフラの金属部に触れないでください。 ● 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。 ● 周囲に小さいお子様がいるところで、エンジンの始動操作をしないでください

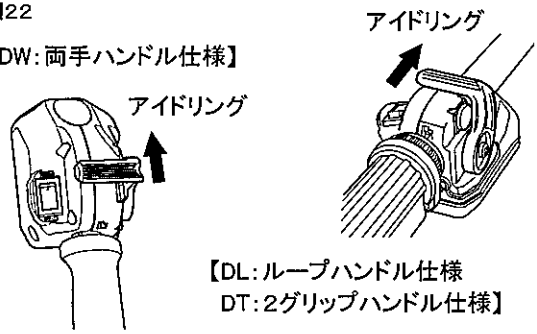
図21



1. エンジン前部のプライマポンプでキャブレタに燃料を満たします。燃料が透明なパイプを通ってタンクに戻り始めるまで、ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

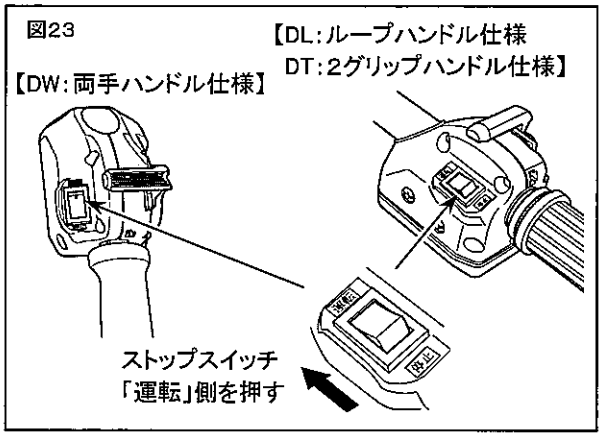
補足 **タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。**

図22



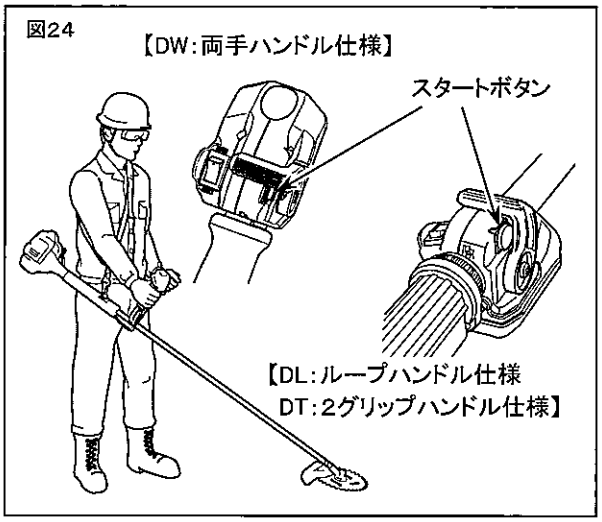
2. スロットルレバーをアイドリング位置にセットしてください。

図23



3. ストップスイッチを「運転」側にしてください。

図24



4. 刈刃の周囲に障害物がないことを確かめてから、両手で機体をしっかり保持し、スタートボタンを押してください。モータが作動してエンジンが始動します。

重要 **スタートボタンはエンジンが始動するまで押し続けてください。機械の性能を維持する為にスタートボタンを約10秒押し続けると、モーターの回転が停止します。万一、エンジンが始動しない場合は一旦スタートボタンから指を離し、再度押し直してください。**

5. 本格運転前に2～3分間低速で暖機運転してください。

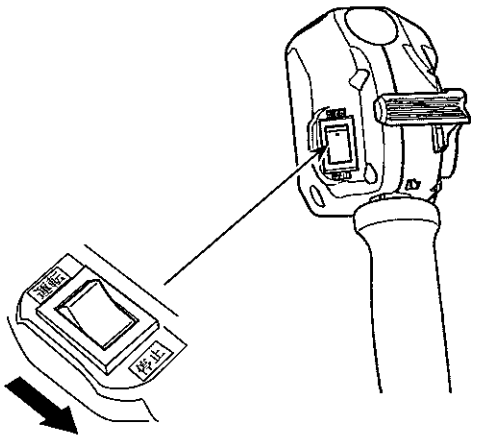
エンジンのとめかた

⚠ 注 意	● 緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。 ● 刈刃はエンジン停止直後も惰性でしばらく回ります。 完全に止まるまで刈刃に触れないでください。

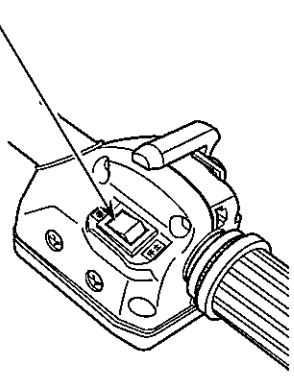
重 要	エンジン回転数を上げたまま停止操作をすると、エンジンに無理がかかります。 緊急時以外はスロットルレバーを戻してエンジン回転数を下げてから停止操作をしてください。

図25

【DW:両手ハンドル仕様】



ストップスイッチ
「停止」側を押す



【DL:ループハンドル仕様
DT:2グリップハンドル仕様】

1. スロットルレバーを完全に戻してください。
2. ストップスイッチを「停止」側にしてください。

操　作　方　法

⚠ 注 意	● 使用時は、本書の「正しくお使いいただくために」(1～10ページ)記載の注意事項を守って正しく操作してください。 ● 刈払機本体を身に着けるときは、トリガーレバーを完全に戻して刈刃の回転が停止してから行ってください。

重 要	本製品は雑草専用刈払機です。太いかん木や竹の切り払い、山林の下刈り、除伐などには使用しないでください。刈刃を幹や切り株に強く打ち当てるとギヤが損傷したりメインパイプが曲がる恐れがあります。

■ 肩掛バンドの装着

⚠ 注 意	● 装着前にハーネスとハンガーに変形や損傷がないことを確認してください。 ● 装着後に機体を押し下げ、フックが容易に外れたりバンドがゆるんだりしないことを確認の上ご使用ください。

図26

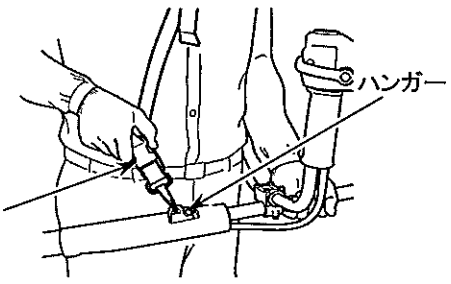
〔DW：両手ハンドル仕様〕

1. 付属の肩掛バンドを、フックが右側の腰にくるように着用してください。
2. エンジンを始動し、肩掛バンドのフックを刈払機のハンガーに確実にかけてください。
3. 肩掛バンドの長さは、自然な姿勢で刈払機を持ったときに、肩掛バンドがたるまず刈刃が水平になるように調節してください。バンドの余った部分はバックル部で折り返し、作業中のゆるみを防いでください。

■ 緊急離脱ツマミの操作方法

⚠ 注 意	緊急離脱ツマミを使って刈払機を切り離す場合は、必ず左手で機体を支えながらツマミを操作してください。機体を支えずに切り離すと刈払機が落下します。

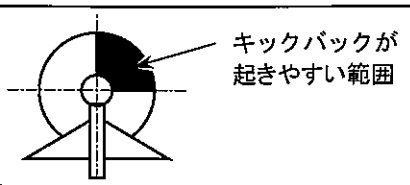
図27



給油時や緊急時など、刈払機を直ちに肩掛けバンドから外したい場合は、フック上部の凹部を両側から指でつまんでください。
フック保持部が２つに分離し、フックをハンガーにかけたまま、肩掛バンドと刈払機を切り離すことができます。

■ 刈払い作業

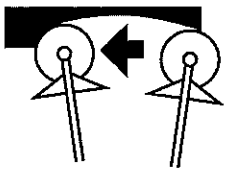
⚠ 警 告	金属刃使用時は、刈刃の右半分で草を切らないでください。キックバック（跳ね返り）が起きやすくなり、対応を誤ると重傷事故を招く危険があります。



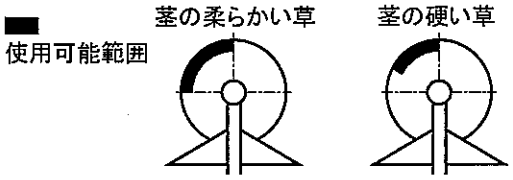
重 要	● ナイロンカッタ使用時はエンジンの回転を高速にしてください。 低速回転で使用するとクラッチが滑りやすくなり、摩擦熱でクラッチが損傷する恐れがあります。 ● ナイロンカッタは本体の外径が10cm以下の小型のものをご使用ください。 ● ナイロンコードの長さは15cmが適切です。17cm以上の長さで連続作業しないでください。

金属刃使用時

●刈刃を右から左に振りながら草を刈ってください。



●1回当たりの刈り込み量は普通の雑草で刃の直径の1／2、ススキやセイタカアワダチソウなど茎の硬い草では直径の1／3までとしてください。



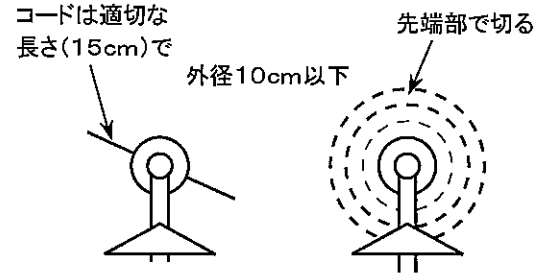
●エンジンの回転数は草の抵抗に合わせて調整してください。
畦草などの柔らかい草はスロットル半開程度で十分ですが、密生したヨモギやツル草などは回転を上げて刈るようにしてください。

重要 エンジン回転数が低過ぎると草が巻き付きやすくなるだけでなく、クラッチの早期摩耗の原因となります。

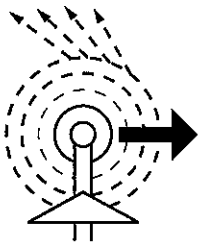
ナイロンカッタ使用時

●ナイロンコードは動力消費が大きいため、作業時のエンジン回転数は、金属刃使用時の5割増を目安にしてください。

●ナイロンカッタは、コードの先端部で草を切ります。コードの長さ分いっぺんに刈ろうとすると、回転が落ち切りにくくなります。
このような場合はいったん草から離し、回転を上げてから1回当たりの刈り込み量を浅くしてください。



●刈刃を左から右の振りながら刈るようにすると、切りくずが身体から遠ざかる方向に飛びますので服の汚れが少なくなります。



点　検　整　備

⚠ 注 意	● 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ● 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。 ● 部品交換時は純正部品または指定品を使用してください。 ● ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

重 要	長期間、使用しない場合、バッテリの特性上、残量が空の状態で放置するとバッテリとしての機能を失います。少なくとも半年に一度は充電してください。

■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

点検項目			処置
1	刈刃	・取付ボルトゆるみ ・割れ、欠け、チップ飛び、曲がり ・刃先磨耗	・締め付け ・交換 ・研ぎ直しまたは交換
2	飛散防護カバー	・取付部ゆるみ ・破損	・締め付け ・交換
3	ハンドル	・取付部ゆるみ ・曲がり、破損	・締め付け ・交換
4	グリップ	・オイル付着	・ふき取り
5	スロットルレバー	・動きが悪い	・修理または交換
6	スロットルワイヤ	・遊び過大/過小 ・動きが悪い	・修正 ・修理または交換
7	肩掛バンド	・フックの変形、破損 ・バンドのほつれ	・修理または交換 ・修理または交換
8	各締め付け部	・ゆるみ、脱落	・締め付け、修理
9	ギヤケース	・刈刃取付シャフトのガタ	・修理または、交換
9	燃料タンク	・取り付け部ゆるみ ・燃料パイプ損傷　・キャップパッキン損傷	・締め付け ・交換
10	マフラ	・取付部ゆるみ ・排気ガス出口のつまり	・締め付け ・マイナスドライバーなどで詰まりを取り除く
11	本機～E/G接続コネクタ	・ゴムカバーの亀裂、劣化	・交換
12	リード線関係	・被覆の剥がれ	・交換
13	バッテリケース	・割れ	・交換

■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点検整備項目		使用時間		備考
		25時間	100時間	
エンジン	エアクリーナエレメントの清掃	○		
	燃料フィルタの点検清掃	○		
	スパークプラグの点検清掃、調整	○		スキマ 0.6～0.7mm
	冷却空気取入口、シリンダフィンの点検清掃	○		
	シリンダ取付ボルトの増締め		○	
	エンジン各部の増締め		○	
	マフラカーボン落し		○	
	クラッチドラム汚れ除去		○	
本体	ギヤケースグリース補給	○		
バッテリ充電		―	―	半年に1回

■ 刈刃

⚠ 警 告	● 作業を安全に行うために、作業開始前と作業終了後には必ず刈刃の点検をしてください。刈刃のゆるみ、チップ飛び、ひび割れ、欠け、曲がりなどを放置して継続使用すると作業中に刈刃の破片が飛散し、作業者や付近にいる人に当たるなどして重大な人身事故を招く恐れがあります。 ● 刈刃点検時は必ずエンジンを停止してください。エンジンをかけたまま点検すると機体の転倒等により刈刃が回り出す恐れがあります。

⚠ 注 意	● 刈刃の点検や着脱をするときは必ずエンジンを停止し、丈夫な手袋を装備してください。素手で刈刃を取り扱うと負傷する恐れがあります。 ● 摩耗して丸くなった刈刃の研ぎ直しはお買い上げ店にご相談ください。 刃先の研磨作業(特にチップソー)は、特殊な作業ですので、適切な工具と研磨技術を必要とします。

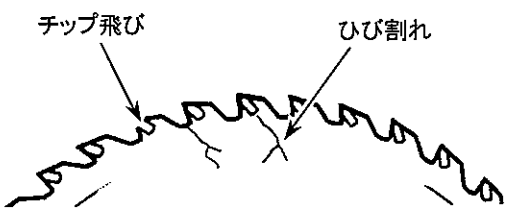
重 要	刃先が摩耗して丸くなった刈刃の使用は、切れ味が悪く、草が巻き付きやすくなったり、作業時に腕にかかる負担が増えます。 また、機械の燃費や寿命にも悪影響を与えます。

1. 刈刃を点検する前にエンジンを必ず停止してください。

2. 刈刃取付シャフトのガタ、取付ボルトのゆるみを点検し、ゆるみがある場合は確実に締め付けてください。

3. ご自身で正しく締め付けられないときはお買い上げ店にご相談ください。

図28



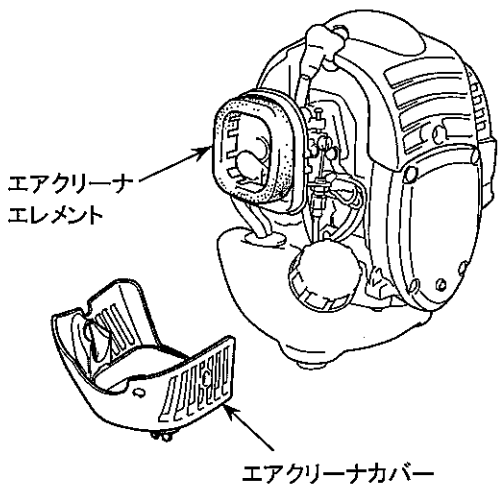
4. 刈刃のチップ飛び、ひび割れ、欠け、曲がり、摩耗などの異常がないか点検し、異常がある場合は刈刃を新品と交換してください。

5. 刈刃交換時は、本機に設定されたゼノア純正品を使用し、回転方向に注意して正しく取り付けてください。(P22の「刈刃の取り付け」項参照)

■ エアクリーナ

重 要	エアクリーナエレメントが詰まるとエンジンの出力が低下し、燃費が悪化します。 また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

図29



使用２５時間毎を目安に、エアクリーナカバーを取り外して内部のゴミを取り除いてください。

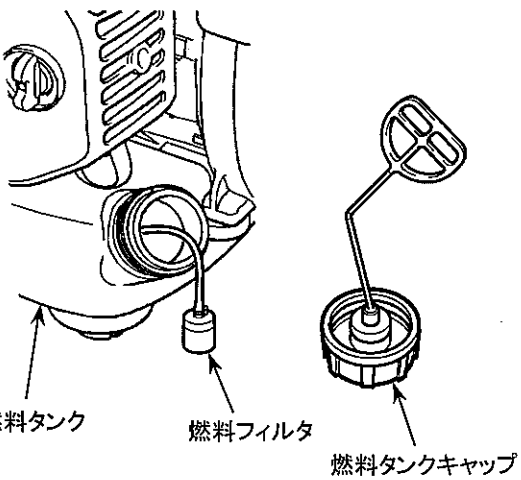
エレメントの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。

エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

■ 燃料フィルタ

重 要	燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかったり、回転変動を起こしたりします。

図30



使用２５時間毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除いてください。

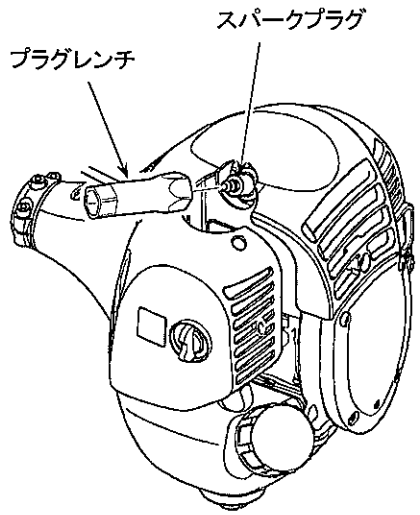
汚れや詰まりがひどい場合は新品と交換してください。

■ スパークプラグ

⚠ 注 意	エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。

重 要	● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締付け時は必ず付属のプラグレンチを使用してください。 ● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。 ● プラグ交換時は指定品を使用してください。 指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。

図31

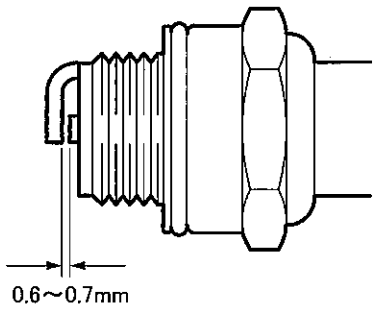


使用２５時間毎を目安に、スパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

● プラグ取り付け時は、まず指でねじ込み、最後に付属のプラグレンチで締め付けます。
【締め付けトルク】
15.3～22.4N･m {150～220kgf･cm}

重要 初めからプラグレンチで締め込むとねじ山が破損する恐れがあります。

図32



● プラグ交換時は指定品を使用してください。

指定スパークプラグ	チャンピオン RCJ6Y または NGK BPMR7A

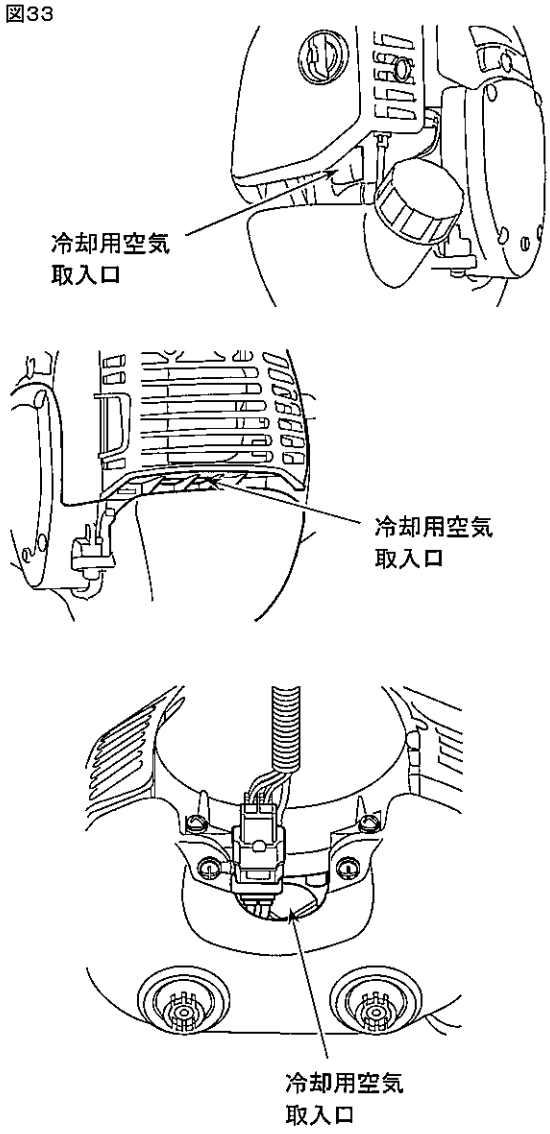
● 電極間隙は0．6～0．7mmが適当です。

■ 冷却用空気通路

⚠ 注 意	● 運転中は、冷却用空気取入口に物を差し込んだりしないでください。 回転部品に触れる恐れがあり危険です。 ● 点検の際は、必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。

重 要	冷却用の空気取入口やシリンダフィンの間にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、故障の原因となります。

図33



使用２５時間毎に冷却用空気取入口やシリンダの冷却フィン回りを点検し、付着したゴミを取り除いてください。

■ ギヤケース

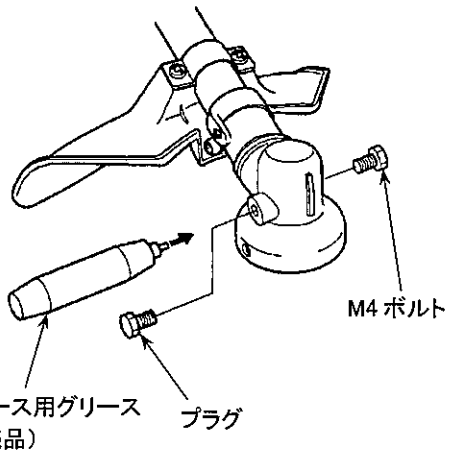
使用２５時間毎を目安に、ギヤケースに潤滑用グリースを補充してください。

指定グリース	ゼノア純正グリース 品番:Z3180-96250(100g 入り) または リチウム系耐熱用グリース(＃2)

補充方法

□BC2350Hb

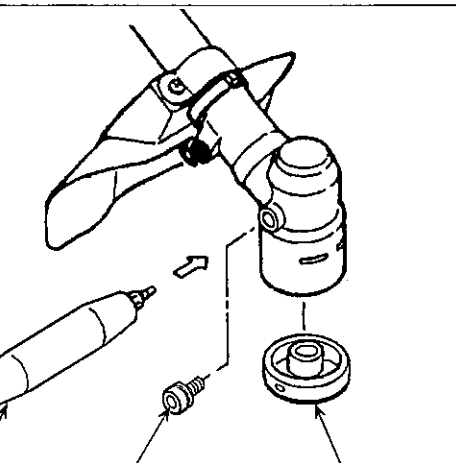
図34



1. ギヤケース横のＭ４ボルトを取り外しておきます。
2. ギヤケース横のプラグを取り外し、プラグ穴からチューブ入りグリースを注入します。
3. 古いグリースがＭ４ボルトを取外した穴から押し出されたら補充を終え、プラグおよびＭ４ボルトを元通り取り付けてください。

□BC2650Hb

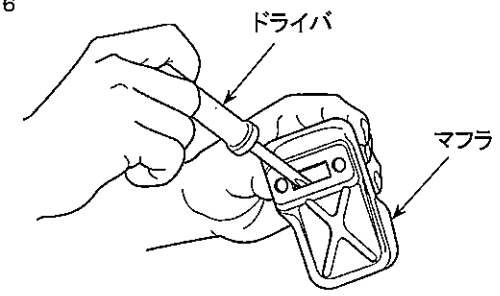
図35



1. 刈刃と刃受け金具を取り外します。
2. ギヤケース横のプラグを取り外し、プラグ穴からチューブ入りグリースを注入します。
3. 古いグリースがメインパイプ取付部側のシャフト結合穴から押し出されたら補充を終え、プラグを元通り取り付けてください。
4. 押し出されたグリースをふき取ってから、刈刃と刃受け金具を元通り取り付けてください。

■ 100時間使用毎の手入れ

図36



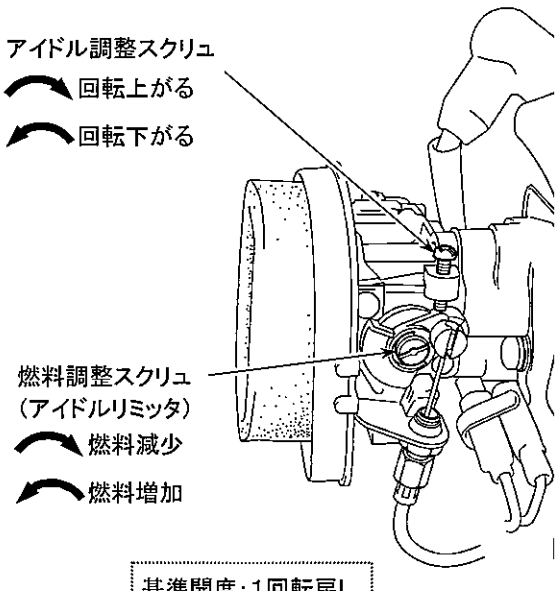
1. マフラを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。
2. 各締め付け部の増締めを行なってください。
3. クラッチのライニングとドラムの間に油がついていないか点検し、油がついている場合は、オイルの混ざっていない無鉛ガソリンで拭いてください。

■ エンジンの調整

⚠ 注 意	スロットルレバーをアイドリング位置にしたときにブレードが動き続ける状態は危険です。アイドル調整スクリュを再調整しても直らない場合は、スロットルレバーやスロットルワイヤの作動不良、クラッチ故障などの可能性がありますので、お買い上げ店に点検修理を依頼してください。

重 要	キャブレタは精密部品のため、分解整備には知識と技能が必要です。本書で説明している調整を行ってもエンジンの調子が思わしくない場合は、お買い上げ店にご相談ください。

図37



〔アイドル調整スクリュ〕

スロットルレバーを最低速の位置にした時のエンジン回転数を調整するスクリュです。
右（時計回り）に回すと回転が上がり、左（反時計回り）に回すと回転が下がります。
スロットルレバーを完全に戻したとき、刈刃が回り続けたりエンジンが止まってしまう場合は再調整してください。
アイドリング回転数　規格値:2800～3200rpm

〔燃料調整スクリュ〕

燃料調整スクリュは、出荷時に調整されています。通常は調整の必要はありませんが、運転条件の変化等により燃料消費が増えたり加速が悪くなった場合は、いったん締め込んでから基準開度に戻してエンジンをかけ、許容範囲内でエンジンの調子が最も良くなる位置（アイドリング時に刈刃が回らず、かつエンジンの回転が安定すること。また、加速時もたつきのない状態）にセットしてください。

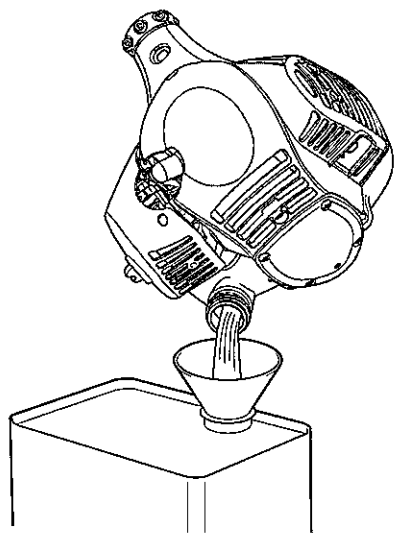
■ 長期保管時の手入れ

⚠ 危 険	引火による火災の恐れがあります。 ● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。 ● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。

⚠ 注 意	保管する場合は下記の点に注意してください。 ● 屋外放置を避けること。 ● 夏場の高温になる車内への放置を避けること。

重 要	● 長期間(2ヵ月以上)使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障(始動不良や出力不足)の原因となります。 ● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。 ● 長期間、使用しない場合、バッテリの特性上、残量が空の状態で放置するとバッテリとしての機能を失います。少なくとも半年に一度は充電してください。

図38



1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を容器に移した後、燃料フィルタを引き出してください。
3. キャブレタのプライマポンプを燃料が出なくなるまで押し、燃料タンクに戻った燃料を容器に移してください。
4. 燃料フィルタをタンクに戻し、燃料タンクキャップを取り付けてください。
5. エンジンを始動し、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。
   ストップスイッチを「運転」側にし、スタートボタンを5秒ほど押してください。
7. ギヤケースにグリースを補給し、スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を塗布してください。
8. 刈刃に軽くオイルを塗布してカバーを取り付け、屋内の火気や湿気のない場所に保管してください。

故障のときは

	現　象	主　な　原　因	処　置
エンジン	エンジンが始動しない	・燃料不良(異質、劣化)	・正規燃料と交換(25頁)
		・マフラ排気出口詰まり	・詰まり除去(38頁)
		・スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・電極清掃またはプラグ交換(35頁★)
	ストップスイッチを操作してもエンジンが止まらない	・スイッチコード接続不良	・確実に接続する(18頁)
		・スイッチ不良	・スイッチ交換
	モーターが回るがクランキングしない	・バッテリ電圧不足	・充電する(16、17頁)
		・エンジン焼付き	・販売店にご相談ください
		・回転部異物噛込み	・販売店にご相談ください
		・カーボン異常堆積	・販売店にご相談ください
	モーターが回らない	・バッテリ電圧不足	・充電する(16、17頁)
		・バッテリ寿命	・バッテリ交換
		・コネクタ、配線接続不良	・確実に接続する(18頁)
		・配線断線	・配線交換
	エンジンが加速しない	・燃料不良(異質、劣化)	・正規燃料と交換(25頁)
		・マフラ排気口詰まり	・マフラ清掃(38頁)
	スロットルを戻すとエンストする	・アイドリング回転数が低すぎる	・再調整(38頁)
	スロットルを戻しても刈刃が回り続ける	・アイドリング回転数が高すぎる	・再調整(38頁)
		・スロットルワイヤの遊びがない	・ワイヤ取り回し点検、遊び再調整(19頁)
	エンジンの回転が変動する	・燃料フィルタ目詰まり	・燃料フィルタ清掃または交換(34頁★)
	異常振動	・刈刃変形、損傷	・刈刃交換(33頁★)
	燃費悪化	・エアクリーナ目詰まり	・エアクリーナ清掃(34頁)
		・刈刃切れ味低下	・刈刃交換(33頁★)
バッテリ	充電できない(充電器のランプが点灯しない)	・電源プラグまたはジャックがしっかり差し込まれていない	・確実に差し込む(16、17頁)
		・バッテリが充電器にしっかり取り付けられていない	・確実に取り付ける(16頁)
	充電中、異音・異臭・煙が出る	・バッテリまたは充電器の故障	・交換(16、17頁★)
	充電器やバッテリが熱くなる	・バッテリまたは充電器の故障	・交換(16、17頁★)

・上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。

・★印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。

⚠ 危　険

- 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。
- 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。
  燃料に引火する恐れがあります。
- 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ずゼノア純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。

ZENOAH

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社　国内営業本部

ナビダイヤル **0570-084987**

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

http://www.zenoah.co.jp/

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社:〒350-1165　埼玉県川越市南台 1-9

(平成 20 年 10 月現在)

848-J8J-93A1(E1/A810) PRINTED IN JAPAN